

Space Design

SD

企画・設計・監理

愛知県春日井市坂下町3-1146-1

TEL 0568-93-1223

FAX 0568-93-1224

http://www.spacedesign.jp

対談 代表者 野村 昭男
1級建築士

ゲスト 清水 章吾(俳優)



依頼主と、とことん向き合うことが 住みよい家を創るコツです！

清水 1級建築士といいますがと国家試験も大変な難関で、なかなか取れない資格の1つとして認識していますが、昨年末には全国の1級建築士にとってあまり有り難くない事件が起きましたね。

野村 そうですね。私は建築士というのは依頼主ととことん向き合って取り組むことが大切だと考えています。特に住宅は一生に1度の大きな買い物です。それが目に見えないからと手抜きをし、お客様の生命財産を守れないようなものを平気で売るといのは本当に考えられません。

清水 日本は地震の多い国ですし、耐震性というのは特に阪神・淡路大震災以降クローズアップされてきた部分でもあります、そこが信頼できないとなると本当に消費者としては不安を感じます。

野村 私は消費者の皆さんが耐震性について充分気に掛けて住宅選びをしているとは思っていません。もっと耐震性を重視して住宅を購入すべきだと考えています。あの事件の際によく言われました構造計算というのは関東大震災レベルの震災に耐えられるものを1として計算しています。現在では木造住宅も1.25とか1.5と数値を上げて造ることができます。問題のマンションは0.38とか0.26といった数値で、いかに危険な建物かということがお分かり頂けると思います。また、構造計算はコンピューターソフトを使って計算しますので、基本的な数値入力がされていけば計算は間違いのないという過信があると思います。今回の事件はそういった意識を逆手にとった非常に巧妙なごまかしから生まれていますね。

清水 それを聞くと本当にぞっとしますね。私も最近家を建てたのですが、建築士さんとは綿密なやりとりを重ねて1年掛かりでした。その時にやはり耐震性というのはとても気を付けました。耐震性を重視するとデザイン的に制約を受けましたが、やはり自分の命の安全には代えられませんよ。

野村 私は阪神・淡路大震災の当時、エス・バイ・エルというハウスメーカーに勤めていました。被災されたお客様の家の状態がどうなっているのか実際に現地を確認しま

したが、あの時の光景は今もしっかりと目に焼きついています。お客様の生活と真剣に向き合って仕事をしていけば手抜き工事などできるはずがありませんよ。

清水 では、独立されるまではハウスメーカーにお勤めでいらしたと。

野村 はい。大学を出てすぐに建築家・黒川紀章のお父様が営んでいた設計事務所に勤めていました。その後1度は独立したのですが、結局ハウスメーカーで17年ほど勤務し、支店長などを歴任した上で再び独立を果たした次第です。様々な経験を経て今度こそ自分の想い描く仕事をしようと4年前にこの事務所を開設したわけです。独立後は主に駅前周辺のマンション設計や住宅設計などを手掛けてきました。

清水 代表の建築士としてのモットーもお聞かせ願えますか。

野村 私は人との出会いはまさに一期一会だと考えています。住宅を設計する時、依頼主の人柄や人生はもちろん物事の考え方や趣味まで知らなければ、その方にとって本当に住みよい家を創ることはできないと考えています。いわばその方の人生と真正面から向き合い、更にもっとどろどろした深いところまで掘り下げていかなければならないと。しかしそれは個人だからこそできることであって、大きな組織の中で依頼主の顔が見えないまま

設計しては、そのようなヒューマンな部分を求めることはなかなか難しいと考えています。昨年末の事件にしても、また例えば回転ドアの事故などについても、自分が使う立場になって、またそこを使う人々の姿がしっかり見えていけばコストよりも人命が大切というのは当然のことと捉えられたはずですよ。私はヒューマンな部分の欠落がこのような事

件をひき起こすのだと思っています。

清水 本当にそうですね。私も3度家を建ててようやく自分が納得できる住まいを造ることができたのですが、本当に何度も何度も話をする、その積み重ねでできたように思います。造っている間は本当に大変な思いをしましたが、実際に住んでしばらく経ってから「ああ、いい家だな」と実感できてとても満足しているのですよ。

野村 それは何よりでした。私も一作一作、魂を込めて密度の高い仕事を着実に積み上げていきたいと常日頃から心掛けています。プランをつくる時に空間をデザインするという事は、その方の過去・現在・未来を三次元の空間の中に封じ込めることだと考えています。本当に満足する住まいを実現するには意見のぶつかり合いが何より大切だと思いますね。

清水 今後のビジョンについてはどのように考えていらっしゃいますか。

野村 マネージメントコンストラクション——MCと呼ばれている手法があります。これはアメリカなどでは多くの例がありますが、企画から設計、工程管理まで手掛けるような仕事を住宅やアパートを手始めに今年から取り組みたいと考えています。

清水 よりスケールの大きな分野への飛躍を期待しています。ぜひ頑張ってください。



株欧倫ホーム 施工



株三和木 施工



株欧倫ホーム 施工

【施工会社】

株式会社 欧倫ホーム
名古屋市名東区社が丘3-1714
TEL 052-704-2226

株式会社 三和木
岐阜県多治見市小名田町
西ヶ洞1-625 スカイビル
TEL 0572-21-6700